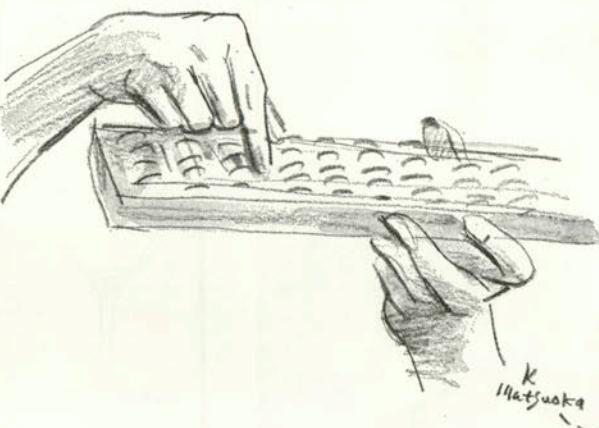


兵庫の女

武田繁太郎
え・松岡寛一



★あらすじ

まつをは15才で広島の生家をとびだして、鐘紡の女工となり、同じ職場で働いていた安福利市と結婚。共稼ぎのかたわら内職に精を出し、やがて呉服の行商をはじめた。そして拓けゆく兵庫の御崎本通りに呉服の店、かたぢ屋をもつた二人は順調な毎日をすごす。

結婚して二十年。あきらめていた子宝にも恵まれた。中橋家具店の中橋善三郎が市会議員に立候補すると、利市は勇躍として選挙運動に走りまわる。そして中橋は予想を上回る得票で当選。その後の彼は人間が一まわり大きくなつた。秋のはじめ「南栄商店連合会」の会長に選ばれた利市にはじめての洋服を着せたまつをは、その外見にふさわしい人間に変貌することをひそかに胸算用していた。

第十六章

へんか
うむ

と、利市も腕組みをして考えこんだ。その顔を、まつをは、本人に気づかれないようじっとみつめた。
いままでの利市なら、こういう話を持ちだされたら、「あかんあかん。わしにはでけん」と即座に尻ごみしだらう。

だが、いま、腕組みをして考えこんでいる利市の表情からは、そのような気おくれらしいものは感じとれなか
ういうときこそ、会長の肩書がものをいふんやありま
つた。

「この話は、おなごの出る幕やない」
まつをは、きっぱりとした口調で言った。「かりにも相手は天下の鐘紡や。それも、県会議員の森川先生をわざらわして、鐘紡のお偉いさんを動かそういう話や。おなこではあかん。やっぱり、あるじのあんたに出てもらわんことにはな。それに、あんたはもう御崎の一小売店のあるじやない。れっきとした連合会の会長はんや。こ
ういうときこそ、会長の肩書がものをいふんやあります。

まだ小首をかしげたままではいる。それは、不安や自信のなさからめらっているのではない。良人はまさぐつているのだ。自分の新しくからを試そうとして、自分で自分をまさぐっているのである。まつをにはそう読みとれた。

良人は変った。まつをの思惑どおりの良人に、利市は徐々に變ってきていた。もうひと息であった。まつをも無言のまま、良人の言葉を待ちかまえた。

「やがて、利市は大きくうなづいた。

「よし。やつてみよう」

「やつてくれますか」

まつをは目をかがやかせた。

「うむ。この仕事がうまいこといったら、わしもほんまに男になれる」

「そら、いうまでもありまへん。あんたがそう決心してくれるんやつたら、店の商売はあたしにまかしといて。あんたは新しい仕事にかかりきりになつてほしいんや」「うむ。店はおまえにまかしとしても安心やさかいな。わしも思いきり自分の仕事にうちこめる」

「そうや。そのほうが、あんたのためにもええと思う。このごろなア、あたしもつくづく感じるようになつた」「なんや」

「いやな、ほかでもない。この呉服屋という商売についてや。そらまア、今まで二人で苦労して、どうやら店もここまでにしてきた。けど、あたしというおなこは、よつぼど欲ぶかい人間にでかるらしい。こんなことぐらいで満足でけん。もっともと商売を大きゆうしたい」

「そら、商売人なら、だれしもおなじ思いやろ」

「そうかも知れへん。ところが、どうだす。ここ一、二年、店の商いはさっぱり延びんよくなつた。儲けは、減りもせんかわりに、増えもせん。頭打ちや」

「それはわしも気づいてたけど、まア、世間の景気、不景氣いうこともあるし、店の商いが延びんいうのも、考

えようによつたら、それだけ、うちの店も落ちついてきたと言えるんやないか。わしはあんまり案じんでもええと思うなア」

「あたしもけつして案してえしまへん。けど、なんや知らん、この商売にも山が見えてきたように思われてならんのや。むかし、鐘紡辞めて、なんぞ商売はじめよう思うたとき、いろんな商売を人はすすめてくれた。豆腐屋がええ、ぜひやんなはれ、と言うてくれた人もいた。豆腐屋ちゅう商売は、豆に働けば、食いはぐれのない商売やそな。けど、あたしは気がすすまなんだ。おんなじ商売をするんなら、一銭二銭のこまかい商いより、もつと金高の張る商売がしたかつた。それで、思いきって、呉服の商いを選んだんだや」

「なんや。そんな豆腐屋の話、おまえと連れそうて何年になるか知らんが、聞かされたんは、いまがはじめてやで」

「そうやつたかなア。なんせ、あのときは、あんたに隠れて商売をはじめよう思つてたんやさかいなア」

まつをもちよつとはにかんだようによく苦笑したが、

「けど、この御崎という街は、けつきょくは、職工や沖仲仕なぞの働きの街や。そんな客を相手にしてきたさかい、うちの店も、もうこの辺がぎりぎり一杯の限度になつてきたもんや」

「そう言えば、たしかにそうや。わしらが店をはじめたころとはちがい、人間も増えるだけ増えてきたし、街ももうこれ以上発展の余地のないところまできてる」

「けどな、ほんならよその土地はどうや言うと、元町あたりで、高級品を専門に扱うてお店でも、どんなに名が売れてても、小売店は小商店。高級品は値が張つて、もうけも大きいけど、それだけ、買つてくれる客は少ない。どれほど大きくなつても、人々の客を相手にする商売に変りはない。やっぱり、限度がある」

「ほんなら、小商店はやめて、問屋はどうや」「さいな。それも考えてみたことがある。あの京都の亀

井はんなア、番頭はんや坊さんを三十人も使うて、手広う商いをしとつてや。蛸薬師の問屋筋では古い暖簾を誇るお店や。あたしがあるお店へいきだして、もう十年になるかなあ。ところが十何年まえといまと、店の様子はちっとも変わってえへん。使用人の顔ぶれこそ變つてはけど、店は大きゆうなりもせんが、といって、小そうもなつてない。むかしのままの姿や。ああいうお店を老舗言うんやつたら、老舗言うもんは、堅う固まつてしまふことや。進歩もなければ發展もない。あたしなんぞの性に合わんなんア」

「えらいまた大きゆう出たな。恐れいりました」

「人をおちょくらんといて。眞面目な話や。いつぞやも番頭はんにきいたんやけど、亀井屋はんも、店の規模をこれ以上大きゆうしたら、かえって經營がむつかしうるんやそうや。どうしても手をひろげたいときは、呉服だけやなしに、衣料品はなんでも扱わんとあかんらしい。つまり、もう呉服問屋ではなくなるわけや。あの有名な飯岡商店も、いまでは繊維品の輸出まで手がける大

きな会社になつてるけど、もとは呉服問屋やつた。三越や大丸などの百貨店も、やつぱり、呉服屋から出発したお店や。亀井屋の番頭はんは、こない言うとつてやつた「なるほどな。そこでおまえも、こんどの仕事を考えついたんか」

「まあな、店の大小、商売の規模はともかくとして、ものの理屈はおんなじやと、あたしは思う。というて、あたしはこの店をやめるつもりはない。今までどおりに精をだしていくつもりや。新しい仕事は、あんたにしてもらいたいんや」

「そら、わしはやるで」

「もしもうまいこと鐘紡にはいれるようなら、この店とはべつに新しい店を持つたらええ。小そうても、会社組織してもええ。そいで、鐘紡の仕事が順調にいくようなら、機を見て、ほかの会社にもはいりこむんや」

「そうなると、仕入れが問題やなア」

「それは、心当りがある。亀井屋の旦那はんの従弟はんたらが、大阪の井池で大きな繊維問屋をしとつてやそ



や。鐘紡の話が進んできたら、あたしは亀井屋はんにお願いして、従弟はんを紹介してもらつたりや」

「そらええ按配や。おまえは以前から亀井屋はんにかわいがつてもろてるさかいにな」

「また、あたしの言うことなら心ようきいてくださると思ひ。あと取引きは、こっちのやり方次第や。仕入れは、いままであたしらがやってきた現金主義でいたらあの井池でもきっと安う仕入れができるはずや」「うむ。こらどうあっても、まず、わしが鐘紡に食いつくことや。それが先決や」

「いや。あんたならでける。きっと成功すると思う」

「まつをも確信したように言つた。お世辞でも燐てでもない。このとき彼女に本心から良人の手腕を信じる気持ちになつたのである。

「じつはな、こんどの仕事が軌道に乗つたら、もうひとつ、考へることがあるんや」「なんや。いつたい」

「三年先きになるか、五年先きになるか、わからん。けれど、その時期がきたら、この店をたたんで、新しい場所にでようと思うのや。西宮内か、柳原か、あるいは有馬道あたりか、もっと兵庫の中心地に新しい店をひらこうと思うのや」

「まつをは、それが癖の、着物と帯のあいだに右手をさしかめたまま、言葉をついた。

「店は二階建ての洋館にして、一階にも二階にも、衣料品や雑貨をぎっしりと並べる。値の張るものはおかん。それも、おんなじ品物でも、よその店よりかならず一割か二割は値引きして売る。その安売りを、歌い文句にするんや。こっちは問屋から現金でたたいて仕入れたら、それだけ安う売れるわけや。これもやっぱり、現金主義の商いや。問屋の倒産品は、ごそりたたいて仕入れておく。安いもんなら、チリ紙でも石けんでも売る。

そこで、店の奥には食堂をつくって、買いもんにきたおなご連中が、ちょっと寄つて寿司でも饅頭でも気軽に入つまめるようにしておく。この売り上げも馬鹿なんならんと思う」

「なるほどなア」

利市は、半ば驚き、半ば呆れたようにうなづいた。

「また、いまはまだ夢みたいな話や。笑わんといて」

「なにを笑うもんか。人間は夢を持つなら、でけるだけ大きいほうがええ」

「そうや。その夢を正夢にするためにも、あんたにここで頑張つてもらいたいのや」

「まつをは話をもとに戻して、良人をはげました。

△次号につづく▽

神戸の催物ごあんない

▷劇団「雲」公演「ヘンリー四世」

6月4日 PM2:00 出演/芥川比呂志・岸田今日子
神山繁・加藤治子ほか <ピランデロ生誕100年記念>
入場料金/A¥1000 B¥800 C¥600 於神戸国際会館
▷映画「ばらの騎士」

6月9日 PM6:10 ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮
ウイーン・フィルハーモニー管弦楽団 入場料金/前売券 S¥1800 A¥1300 B¥1000 C¥700 全館指定席 当日券はプラス ¥200 主催/神戸新聞社 於神戸国際会館

▷岩波の文化講演会

6月13日 PM6:00 講師/武田泰淳「最近の中国」内田義彦「資本論と現代」入場無料 主催/岩波書店 後援/神戸新聞 於神戸国際会館

▷アイ・ジョージリサイタル

6月16日 PM6:30 神戸労音6月例会 主催/神戸労音会員券 於神戸国際会館

▷俳優座公演「追究」

6月17・18・19日 PM6:15 18日のみ PM1:30 神戸労音6月例会 出演/松本克平・三島雅夫ほか 主催/神戸労音会員券 於神戸国際会館



西ベルリン自由劇場の「追究」公演

▷ユバンキギター独奏会

6月22日 PM6:30 神戸労音6月例会 主催/神戸労音会員券 於神戸国際会館

▷久重佑三子・鈴木草治とリズムエース

6月24日 PM6:30 神戸労音6月例会 主催/神戸労音会員券 於神戸国際会館

▷ロジャー・ワーグナー合唱団

6月29日 PM6:30 入場料金/ S¥1700 A¥1400
B¥1200 C¥1000 D¥700(全館指定席) 於神戸国際会館



★さわやかな五月の空の下。神戸開港百年祭がにぎやかにくりひろげられる。ゾ切の都合で百年祭のはなやかなお祭風景は七月号までお楽しみ下さい。

しかし百年祭の壮舉。アラスカ、マウント・コウベの登頂記を、神戸市の室崎助役が執筆。〆切すべりこみ春の陽をいっぽいあひて、下界の匂々しさにはまるで知らんふり。うらやましい。時々は出かけたい。

のどかな春の瀬戸内に船を乗り出
て糸をたれていたらしいなあ……
などと、あれこれ想像しながら
今まで原稿用紙のマス目に書く。
くつらいどころ……△土屋蘿子(や
く)★六甲の緑が雨に洗われて美しい。
毎日の忙しさの中でも忘れないものか
していたよう。もう少し余裕をもつて、
自然との静かな対話を△六甲をなす
料道路を取材しながら、ふとそんな
ことを考える。△赤沢須美子(あかざわ
よみこ)

発行にいろいろと
お世話いただいた方がた

の神戸は、今も日本一大の「おもてなし」の街です。父から昔のトーレード、元町の話をよく聞きますが、そのたびにまたとよくなつて、そればかり思っています。先日元町を歩いていたとき、一つの赤いベンチが元町通通りの真中に置いてありました。そこに外人の婦人が座っていました。これを見たとき、元町だなあと思いました。一つといわざ、もつともっと多く赤、青、黄、緑……とたくさんおいたらしいと思います。僕の最大の願いは、セントラル街元町の店が、それが世界各国の旅行者をもって、どこよりも早く派生をとり入れてほしい。たとえば、パリ、ロンドン、ローマ、ニューヨークなどとの店と。そしてどこよりも神戸

★先日、11PMを観ていましたら、「神戸っ子酒祭り」の模様を放映していました。昨年のは「酒祭り」には参加したのですが、今年は神戸を離れていたため参加できなくて本当に残念でした。酒宴のメンバーに思わずニタリ。飲めなかったのがかえすがえすも残念になつたのが思われる。
△箕谷区・T生▽

後編集



★神戸カーニバルに、バレード、
祭り広場と準備に大わらわ。こんな



★月刊神さま、また月を毎月お読みになりたい皆さま、福井県の神戸をお読みになりたい方達に、神戸の香りをおとどけにあなた達の方へ、編集室にてお申込み下さい。さっそくお送りいたします。

小原書房
★月刊神戸 つ子に広告を掲載して、お店を、また商品を紹介なさりたい方は、月刊神戸 つ子編集室へお申込みください。
★神戸百店会の事務局も月刊神戸（子編集室）内にあります。

<p>★月刊神戸 つ子をお買い求めの時に は左の本屋さんでどうぞ。</p> <p>そごう書籍部 コーベックス 大丸 漢書館 神戸大丸五階 流泉書房 京町ターミナル 街</p>	<p>神戸の銘店には、お客さまへのサ ビスとして神戸つ子がおかれていま す。</p>	<p>神戸つ子N.C. 7- 神戸つ子のサ</p>
<p>*発行／昭和42年6月1日 *編集・発行／小泉康生</p>	<p>*発行所</p>	<p>月刊神戸 つ子編集室</p>
<p>9の1 国際会館 1 階 TEL 070-3757-0040</p>	<p>神戸市 葵区 御幸通 8丁目 漢書館 神戸大丸五階</p>	<p>神戸つ子N.C. 7- 神戸つ子のサ</p>



Serizawa
MEN'S WEAR LADIES' WEAR
Mode Corner

白いピアノと
ピンクのジョーゼットの
ロマンチックなドレス
夏の宵を楽しむ
セリザワの
エレガントなモードです

紳士服飾・婦人服飾

セリザワ

三宮センター街/TEL 39-4624
神戸・大丸前/TEL 33-3900
神戸・大丸前/TEL 39-1695
さんちかレディスタウン/TEL 39-4626
東京・白木屋1階/TEL 211-0511
京都・藤井大丸/TEL 23-8181
姫路・やまとやしき/TEL 23-1221

★ ★ ★ ショウのあるビヤガーデン ★ ★ ★



今年もビヤガーデンのシーズンがやってきました！

営業<5月20日～8月31日> 開場・PM 5:00

生ビール 100円より 各種おつまみ 100円より

特別サービス前売券 500円<中ジョッキー・フライチキン・バーベキュー>

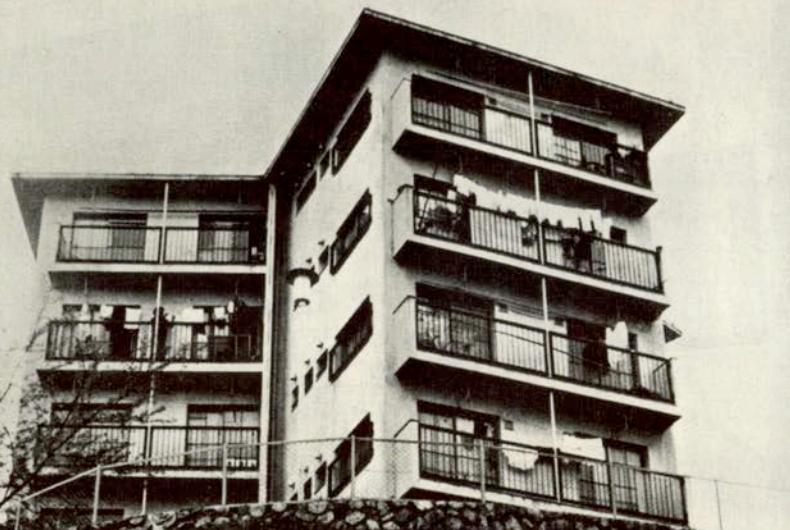


オリエンタル ホテル

神戸・京町 TEL 33-8111(代)

ある雨の日

対話／安水稔和
カメラ／緒方しげを



建物

どこへいってしまったのか。

あれほどたくさんいたのに。

洗濯物など残しましたま

どこへいってしまったのか。

足のしたに

いつまでも石垣。

(崩れないかな)

頭のうえに

いつも雲り空。

(崩れでこないかな)
いつそのこと)

子供

どこへいったのかしら。
さつきまで怒つていたのに。
さつきまで歌つていたのに。
ママは
どこへいったのかしら。

ぼくひとり。

(どこへいこうかな)

傘一本。

(どこへいってしまおうかな)





あ。
いた。
子供が四人。
（靴投げたら表だよ。）
（そうよ。そうよ。）
（明日は晴れるよ。）
（へきつど。）
そうだね。
明日は晴れるよ。
たぶん。



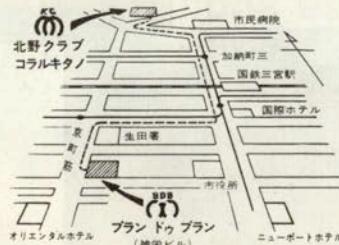
いつてしまつたのかな。
わたくしの飼い主たちは。
壁ばかり。
こにいてもしようがないな）
影ばかり。
（まだ降つているな）



銘店抄その45
赤根和生
美術評論家
ブラン・ドウ・ブラン
京町筋神楽ビル七階

人間の生活から食べる楽しみをうまい去つたら一体どんなことになろうか。食いしんぼうのはくなどは、恐らく発狂ものだろう。素朴な人間の欲望に寄着しながら、高度のティリカシーの限りなく要求されるもの、それが料理というものだろうが、味覚というのも案外、外的条件に左右されやしないから、最高にエンジョイするとなれば、やはりあらゆる条件の揃ったレストランで、ということになろう。家庭の料理はすべての点で限界があるのでから、せめて遇に一度はしやれたレストランで、これはわれわれの生活の重要なアクセントでもある。

つい最近店びらきしたブラン・ドウ・ブランは、そんなアクセントとしておすすめしたい所である。すべての点で完璧に近い配慮が払われていて、料理がいちだんと冴えてくる。ビジネスセンターのビル、七階の一七〇坪ほどのスペースをぜいたくに使った総合的なレストランである。近頃の店にありがちな豪華過剰ではなく、すっきりと、それでいてあたたかい感じのする室内は、すべての点で主役としての料理をひき立てる傍役の立場である。チラチ



うとまたたくキャンドルの
赤い灯、ソフトなバツクミ
ユージック、そして、ベタ
ベタせず細心の神経を働ら
かしたウェイターの完璧な
マナー……。

フランスに留学し、二年
間みつちりとこの方面的修
業を積んで帰ってきたばかり
の若いジェントルマンの
浅木専務が姉妹店の北野ク
ラブ、コラル・キタノの環
境と設備にもこの点では絶
対負けないと自負する料理
とそしてきびしいしつけの
サービス……諸事万端ゆき
届いた本格的なレストラン
である。その豪華な印象に
比べて値段が決して高くな
いのが魅力である。フラン
スの庶民的な飲もの、ペル
メーの水割りが始まつてブ
ルゴーニュのワインと共に
よも山ばなしに花を咲かせ
ながら過した延々三時間に
近い食事の時間は誠にたの
しかった。われわれ日本人人
もたまには食事にこの位の
時間をかけたいものである。

（写真左中央筆者 右浅木幸雄氏）

uc
coffee shop



明かるいさんちかタウンは ワタシのプロムナード
コーヒーのオイシイ UCCコーヒーショップは
ワタシのオアシスです。

uc 上島コーヒー・ヒュップ本店

さんちかメンズタウン TEL 39-5677

uc 上島珈琲本社直営

神戸駅前 TEL 34-3606-19

神戸百店会

Kobe High Class Shop Group

*宝飾品 Jewel·Pearls

①宝 飾	御木本真珠店	國際金館 1 階 Mikimoto Pearls
②宝 飾	田崎真珠店	新聞会館 錦品店 Tasaki Shinbun
③宝 飾	北村真珠店	元町通二丁目 Kitamura Pearls
④宝 飾	タジマ	元町通二丁目 Tajima Jewel
⑤時計と宝石	美田時計店	元町通三丁目 Mita Watch Shop
⑥宝 飾	神戸宝	ト 7 ロ 9 Tor Road
⑦真珠・毛皮	ムラタ	5 8 6 7 山本通 4(2) 1212-6
⑧舶来婦人服飾	Pearl Fur & Ladies'	

*紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop

⑦紳士服	柴田音吉洋服店	元町通四丁目 Tailor Sibata
⑧ネクタイ	元町バザー	元町通一丁目 Motomachi Bazaar
⑨紳士服	三恵洋服店	元町通四丁目 Tailor Mituei
⑩男子洋品	フナキヤ	元町通三丁目 Funakiya
⑪紳士服	十字屋洋服店	元町通五丁目 Tailor Jujiya
⑫洋品雑貨	サノヘ	元町通二丁目 Sanohe
⑬ワイシャツ	神戸シャツ	太 2 九 1 6 8 In front of Daimaru
⑭紳士服	洋服の粹渡辺	さ 3 タ 4 5 0 Center-Gai
⑮衣生活品	ニッケショールーム	元町通三丁目 Nikke Showroom
⑯紳士服	神戸テーラー	阪急西口・西 Hankyu west Exit
⑰若人の服飾	マク	三宮本店・トロード店 Center-Gai, Kyoto Dept.
⑱紳士シャツ	大和屋のシャツ	セ 3 タ 4 5 6 Center-Gai
⑲婦人洋装・洋品 Lade's Shop	マキシ	ト 7 ロ 7 1 1 Maxim
⑳服飾雑貨	エスター・ニュートン	ト 7 ロ 8 1 8 Esther Newton
㉑洋品	スギヤ	ト 7 ロ 3 4 3 6 Sugiya
㉒ハンドバッグ	シラスマ	サ 3 0 8 1 3 Shirasa

*ボーリング Bowling

ベビー用品 子供服	ファミリア	元町1丁目 39-5555 Familiar
--------------	-------	---------------------------

㉓洋傘ショール

Okada

㉔洋装マス

Masuya

㉕婦人服ベ

Beniya

㉖輸入服地

Maruzen

㉗婦人・紳士服

Serizawa

㉘毛皮

Bennie Furrier(Furs)

㉙洋傘ス

力

㉚婦人服ヤ

二

㉛輸入服地

Maruzen

㉜婦人・紳士服

Serizawa

㉝毛皮

Bennie Furrier(Furs)

㉞洋傘ダ

ヤ

㉟婦人服ヤ

二

㉟輸入服地

Maruzen

㉟婦人・紳士服

Serizawa

㉟毛皮

Bennie Furrier(Furs)

㉟玩 具

メ

㉟メガネ

院

㉟カメラ

コ

㉟儀式用品

届

㉟カバン

箱

㉟電器製品

田

㉟カバン

上

㉟カバン

高

㉟電器製品

屋

㉟カバン

元

㉟カバン

神戸

㉟カバン

ス

㉟カバン

月

㉟カバン

堂

㉟カバン

元

㉟カバン

月

㉟カバン

堂

㉟カバン

元

㉟カバン

月

㉟カバン

堂

㉟カバン

元

㉟カバン

月

㉟カバン

堂

㉟カバン

元

㉟カバン

月

㉟カバン

㉟洋傘ヤ

ヤ

㉟メガネ院

院

㉟カメラヤ

ヤ

㉟儀式用品田

田

㉟カバン屋

屋

㉟カバン上

上

㉟カバン鞄

鞄

㉟電器製品鞄

鞄

㉟カバン鞄

鞄

㉟洋菓子

寿

㉟洋菓子本

本

㉟洋菓子寿

寿

㉟洋菓子本

本

㉟洋菓子

寿

㉟洋菓子

葉

㉟洋菓子

壽

㉟洋菓子

本

㉟洋菓子

本

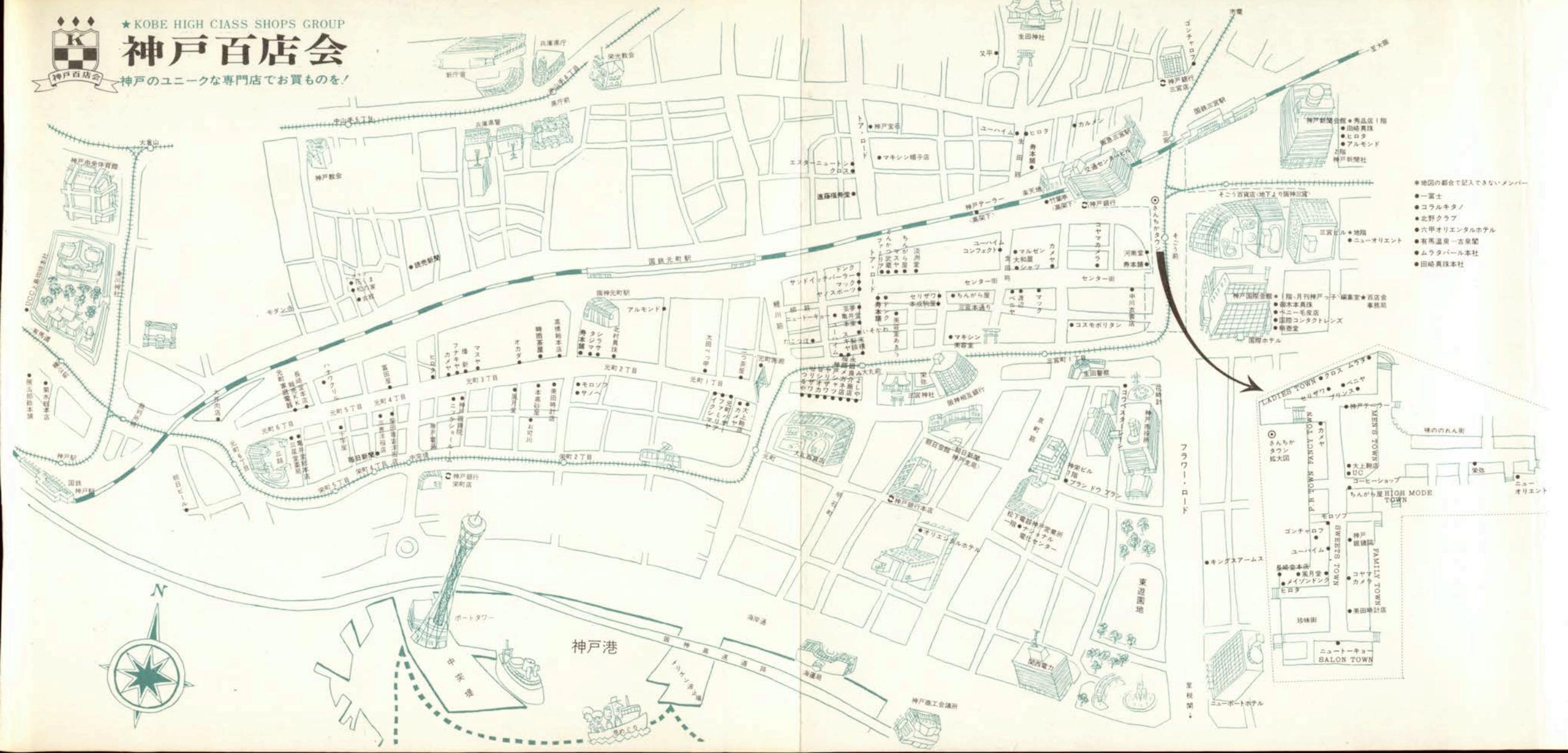
</



★ KOBE HIGH CLASS SHOPS GROUP

神戸百店会

→神戸のユニークな専門店でお買ものを！



- *地図の都合で記入できないメンバー

 - 一富士
 - コラルキタノ
 - 北野クラブ
 - 六甲オリエンタルホテル
 - 有馬温泉—古泉閣
 - ムラタバール本社
 - 田崎真珠本社

大きく育てる チャンスです

東宝 内藤洋子



神戸銀行

- 定額積立預金
- 自由積立預金

ボーナスで5万円

毎月は3千円ずつ『積立』てる：

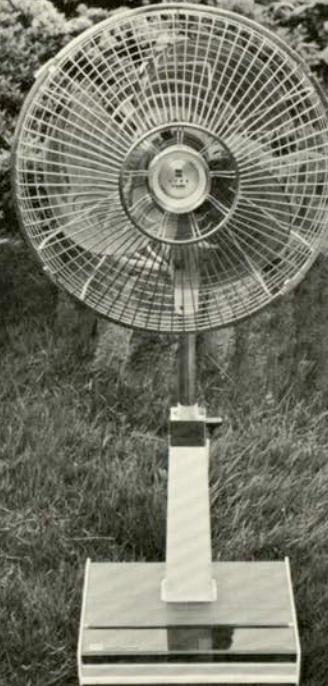
これが一般ご家庭の貯蓄の標準です

■百店会でのお買物は神戸銀行ホームチエツクをご利用ください



松下電器

まつ
かぜ



風がグーンと大きくなつた

ナショナル Q 羽根 扇風機

羽根の革命と呼ばれて話題を独占した「Q羽根」を採用。世界で最も多く愛用されているナショナル扇風機がより一層お部屋のムードに合った格調高いスマートなデザインになりました。扇風機に要求されるあらゆる条件、豊かな風、静かな風……驚く耐久力……すべての使い良さが、このQ羽根扇風機に結集されています。空気力学の粋、Q羽根はナショナル独創の最高設計です。

●35センチ高級お座敷『松風』 F-35MG

現金正価 16,900円 月賦正価(6回) 18,100円

Q羽根・自由首振り・前面首振り角度調節・5段ピアノスイッチ・60分タイマー・ブッシュアップ・開閉式操作板・コード捲込み